

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-358578

(43)Date of publication of application : 13.12.2002

(51)Int.Cl.

G07G 1/14

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-165609

(71)Applicant : NTT DATA CORP  
MCDONALD'S CO (JAPAN) LTD

(22)Date of filing : 31.05.2001

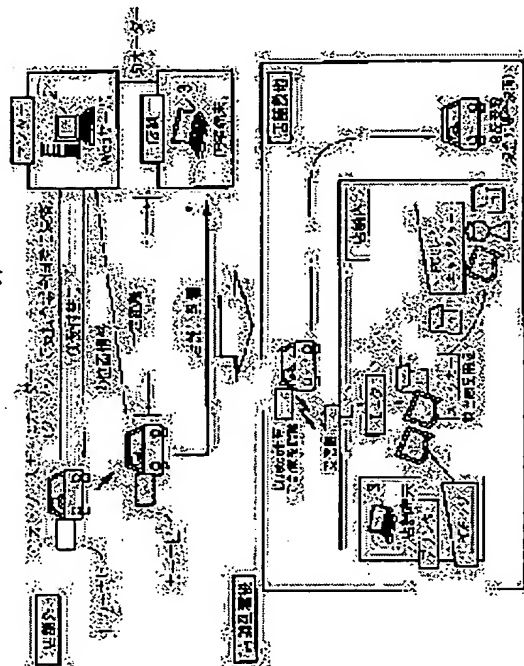
(72)Inventor : KUMADA FUSAYOSHI  
HIRUMA SHIGEHARU  
IWATA MAYUMI  
TAMURA YUJI

## (54) DRIVE THROUGH ORDERING SYSTEM

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a drive through ordering system by which commodities can be delivered speedily.

SOLUTION: A customer designates a store for buying commodities and transmits a name of commodity to be bought, the number of the commodities to be bought, user ID, etc., to the server 2 of a center by using a car navigation 1. When receiving a name of commodity to be bought, the number of the commodities to be bought, etc., the server 2 transmits a receipt number to the car navigation 1 of the customer. When approaching the store for buying the commodity by a fixed distance, a message to the effect is transmitted to the server 2. The server 2 transmits order information including the receipt number, the name of commodities to be bought, the number of the commodities to be bought, the user ID, etc., of the customer to a store terminal 3, which presents the received order information. The clerk of the store prepares the commodities by referring to the presented order information. The store recognizes arriving of the customer by a receiver, etc., for receiving the user ID, etc., and delivers the commodities to the orderer.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the  
examiner's decision of rejection or application converted  
registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of  
rejection][Date of requesting appeal against examiner's decision of  
rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2002-358578  
(P2002-358578A)

(43)公開日 平成14年12月13日(2002. 12. 13)

(51)Int.Cl.	識別記号	FI	テマコード(参考)
G 0 7 G 1/14		G 0 7 G 1/14	3 E 0 4 2
G 0 6 F 17/60	3 0 2	G 0 6 F 17/60	3 0 2 A
	3 1 8		3 1 8 G
	5 0 6		5 0 6
	Z E C		Z E C
		審査請求 未請求 請求項の数3	OL (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2001-165609(P2001-165609)

(22)出願日 平成13年5月31日(2001.5.31)

(71)出願人 000102728

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  
東京都江東区豊洲三丁目3番3号

(71)出願人 593143898

日本マクドナルド株式会社  
東京都新宿区西新宿六丁目五番一号

(72)発明者 熊田 総佳

東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会  
社エヌ・ティ・ティ・データ内

(74) 代理人 100064908

弁理士 志賀 正武 (外2名)

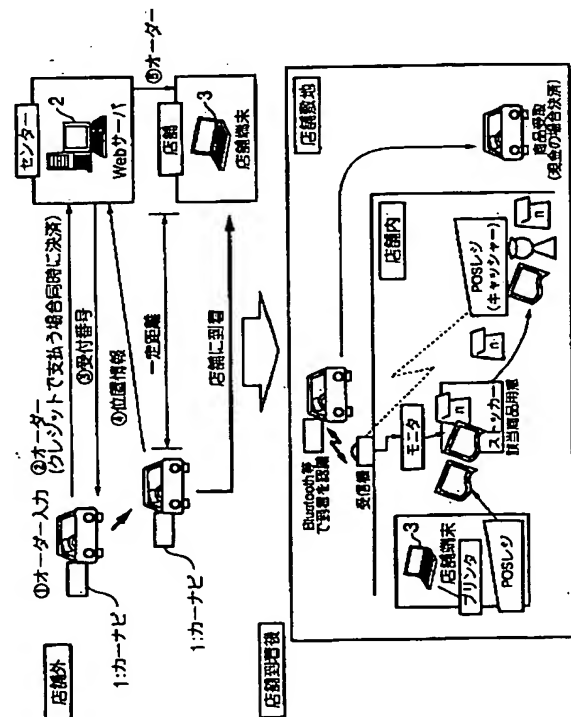
**最終頁に続く**

(54) 【発明の名称】      ドライブスルーオーダリングシステム

(57) 【要約】

【課題】 迅速な商品の受け渡しを可能とするドライブスルーオーダリングシステムを提供する。

【解決手段】 顧客は、カーナビゲーション1を用いて、購入する店舗を指定し、購入商品、購入個数、ユーザID等をセンタのサーバ2へ送信する。サーバ2は、購入商品と購入個数等を受信すると、受付番号を顧客のカーナビゲーション1に送信する。カーナビゲーション1は、購入する店舗に一定距離近づくと、サーバ2にその旨を送信する。サーバ2は、顧客の受付番号、購入商品、購入個数、ユーザID等を含む注文情報を店舗端末3へ送信する。店舗端末3は、受信した注文情報を提示する。店舗の店員は、提示された注文情報を参照して商品の用意をする。店舗では、ユーザID等を受信する受信機等で顧客の到着を認識し、顧客に商品を渡す。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ドライブスルー店舗の端末と、利用者の端末及び前記ドライブスルー店舗の端末に通信ネットワークを介して相互に接続され前記利用者からの注文を受け付けるサーバと、前記利用者の到着を認識する前記ドライブスルー店舗の到着認識装置とからなるドライブスルーオーダリングシステムにおいて、

前記サーバは、

前記利用者の端末から前記利用者の購入する商品に関する情報と、前記利用者を一意に識別できる情報とを含む注文情報を受信する受信部と、

前記受信した注文情報を前記ドライブスルー店舗の端末に送信する送信部と、

前記ドライブスルー店舗の端末は、

前記注文情報を受信し、前記受信した注文情報に基づいて前記利用者の購入する商品を用意させる手段を備え、

前記ドライブスルー店舗の到着認識装置は、

前記利用者を一意に識別できる情報により前記利用者の到着を認識し、前記利用者の到着を前記ドライブスルー店舗の店員に報知する手段を備えることを特徴とするドライブスルーオーダリングシステム。

【請求項 2】 前記サーバの受信部は、前記利用者が前記ドライブスルー店舗に到着する時間に関する情報をさらに受信し、

前記サーバの送信部は、受信した前記到着する時間に関する情報を前記ドライブスルー店舗の端末にさらに送信することを特徴とする請求項 1 に記載のドライブスルーオーダリングシステム。

【請求項 3】 無線送受信機能を備える利用者の端末と無線通信可能な前記利用者の利用するドライブスルー店舗に設置された店舗装置において、

前記利用者の端末から送信された注文情報であって、あらかじめ用意された前記利用者の購入する商品に関する情報を含む注文情報を受信する手段と、前記受信した注文情報に基づいて前記利用者の購入する商品を用意させる手段とを備えたことを特徴とする店舗装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、迅速な商品の受け渡しを可能とするドライブスルーオーダリングシステムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来のドライブスルーは次に述べるような方法で利用する。

顧客は店舗に到着してから、メニューの書いてあるボード（メニューボード）を見てマイクまたは店員に向かって注文を行う。

店舗の店員は、注文を受けてから商品を用意する。

顧客は、メニューボードがある場所から、商品を受け取る場所まで車を移動させる。

顧客は商品を受け取り、代金を支払う。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来のドライブスルーの利用方法には、次のような問題がある。

顧客は店舗に着くまで商品を選ぶことができない。

顧客は店舗に着いてから商品を選ぶため、商品を決めて注文をするまで時間がかかる。

店舗は顧客の注文を受けてから商品を用意するため、顧客が注文をしてから受け取り場所に行くまでに商品を用意できない場合も多く、その場合は商品が用意されるまで待たなければならず、商品を受け取るまでに時間がかかる。

受け取り場所で代金の支払いを行うため、時間がかかり、また現金のハンドリングに手間がかかる。

本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、迅速な商品の受け渡しを可能とするドライブスルーオーダリングシステムを提供することを目的とする。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は上記の目的を達成するためになされたもので、ドライブスルー店舗の端末と、利用者（顧客）の端末及び前記ドライブスルー店舗の端末に通信ネットワークを介して相互に接続され前記利用者からの注文を受け付けるサーバと、前記利用者の到着を認識する前記ドライブスルー店舗の到着認識装置とからなるドライブスルーオーダリングシステムにおいて、前記サーバは、前記利用者の端末から前記利用者の購入する商品に関する情報と、前記利用者を一意に識別できる情報とを含む注文情報を受信する受信部と、前記受信した注文情報を前記ドライブスルー店舗の端末に送信する送信部と、前記ドライブスルー店舗の端末は、前記注文情報を受信し、前記受信した注文情報に基づいて前記利用者の購入する商品を用意させる手段を備え、前記ドライブスルー店舗の到着認識装置は、前記利用者を一意に識別できる情報により前記利用者の到着を認識し、前記利用者の到着を前記ドライブスルー店舗の店員に報知する手段を備えることを特徴とする。これにより、利用者は通信ネットワークに接続できる端末を用いてセンタのサーバに連絡するだけで、注文するために一時停止等することなく商品を受け取ることができる。また、顧客の到着を認識するので、ドライブスルー店舗の店員は顧客の到着と同時に商品の用意をすることができる。

【0005】また、上記発明において、前記サーバの受信部は、前記利用者が前記ドライブスルー店舗に到着する時間に関する情報をさらに受信し、前記サーバの送信部は、受信した前記到着する時間に関する情報を前記ドライブスルー店舗の端末にさらに送信することを特徴とする。これにより、利用者はドライブスルー店舗で待つことなく商品を受け取ることができる。

【0006】また本発明は、無線送受信機能を備える利

3  
 用者の端末と無線通信可能な前記利用者の利用するドライブスルー店舗に設置された店舗装置において、前記利用者の端末から送信された注文情報であって、あらかじめ用意された前記利用者の購入する商品に関する情報を含む注文情報を受信する手段と、前記受信した注文情報に基づいて前記利用者の購入する商品を用意させる手段とを備えたことを特徴とする。これにより、利用者は注文するために一時停止等することなく商品を受け取ることができる。

#### 【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照し、本発明の実施形態について説明する。本実施形態は、ドライブスルーを利用する時、あらかじめ、ブルートゥース (Bluetooth) による送受信機能を備える情報端末を利用して注文しておき、顧客の到着を店舗の到着認識装置で認識し、商品を渡すものである。本実施形態では、到着認識装置は、ブルートゥースによる送受信機能を備える機器と通信できる受信機であるものとする。ここでは、カーナビゲーションシステムを利用して注文する実施形態と、携帯電話等の携帯端末を利用して注文する実施形態とを説明する。

【0008】まず、カーナビゲーションシステムを利用して注文する実施形態を説明する。図1は、本実施形態の構成を示す図である。図1において、1は、インターネット50に接続できるカーナビゲーションである。顧客は、カーナビゲーション1を利用して商品を注文する。本実施形態では、カーナビゲーション1は、ブルートゥースによる送受信機能を備えているものとする。2はセンタのサーバであり、顧客からの注文情報を受信し、受信した注文情報を店舗に送信する。3は店舗端末であり、サーバ2からの注文情報を受信する。店舗端末3には、店内のプリンタ、POS (Point Of Sales) レジ等と接続されている。本実施形態では、このプリンタ、POSレジ等は、受信した注文情報に基づいて顧客 (利用者) の購入する商品を用意させる手段に相当する。ドライブスルー店舗の店員が、プリンタ、POSレジ等に提示された注文情報を見て商品を用意することにより、その機能を実現させる。また、店舗には、ブルートゥースによる送受信機能を備える機器と通信できる受信機 (図示略) が備えられており、店内のPOSレジ、モニタ等と接続されている。50はインターネットであり、本実施形態では、携帯電話網等も含めるものとする。

【0009】図2は、センタのサーバ2の機能をブロック化して示した図である。この図において、11は受信部である。12はメニュー受付部であり、顧客にメニューを提示し、顧客の選択したメニューを受け付ける。13はメニューDB (データベース) であり、商品 (メニュー)、単価等が商品IDと関連付けられて記憶されている。14は決済部であり、顧客に支払方法を提示し、

必要に応じてオンライン決済をする。15は管理DBであり、様々な顧客からの注文情報を記録する。16は受付番号提示部であり、顧客に受付番号を提示する。17はオーダ転送部であり、顧客からの注文情報を店舗端末3に送信する。18送信部である。19は店舗提示部であり、顧客に商品を受け取る店舗を提示する。20はユーザDBであり、本実施形態におけるドライブスルーオーダーリングシステムを利用する顧客に関する情報を記憶する。本実施形態では、ドライブスルーオーダーリングシステムを利用する顧客は、あらかじめ、サーバ2のユーザDB20にユーザ登録しておくものとする。ユーザDB20には、顧客の氏名、住所、電話番号、カード番号等が、顧客を一意に識別するユーザIDと関連付けられて記憶されている。

【0010】図3はカーナビゲーション1の機能をブロック化して示した図である。この図において、21は送信部である。22は各部の制御を行う制御部である。23は表示部であり、サーバ2から送信される情報をカーナビゲーション1の画面等に表示する。24は道路や様々な店舗等の情報を記憶する記憶装置であり、本実施形態では読み出し装置等の付随するDVD (Digital Versatile Disc ReadOnly Memory) であるものとする。25は位置通知部であり、顧客の車が店舗から一定距離に近づいたことをサーバ2に通知する。26は到着通知部であり、店舗の受信機と通信して顧客の到着を通知する。27は受信部である。また、本実施形態では、カーナビゲーション1は、空いているフィールド等に顧客のユーザIDを記憶しているものとする。

【0011】なお、図2における各DBは、ハードディスク装置や光磁気ディスク装置、フラッシュメモリ等の不揮発性のメモリや、CD-ROM等の読み出しのみが可能な記憶媒体、RAM (Random Access Memory) のような揮発性のメモリ、あるいはこれらの組み合わせにより構成されるものとする。また、図2、図3における各々は専用のハードウェアにより実現されるものであってもよく、また、この各部はメモリおよびCPU (中央演算装置) により構成され、各部の機能を実現するためのプログラムをメモリにロードして実行することによりその機能を実現させるものであってもよい。

【0012】次に、図4を参照して動作を説明する。本実施形態のドライブスルーオーダーリングシステムを利用して商品を購入したい顧客は、カーナビゲーション1を利用して注文依頼を送信するボタン等をクリックする。カーナビゲーション1の制御部22は、注文センタのサーバ2にアクセスし、空いているフィールド等に記憶しているユーザIDを含めた注文依頼を送信する。サーバ2の受信部11は顧客からの注文依頼を受信する。さらに、注文依頼に含まれるユーザIDを認識する。店舗提示部19は、店舗DB等を参照し、ドライブスルー店舗に関する情報をカーナビゲーション1に送信する。

【0013】カーナビゲーション1の制御部22は、表示部23に、受信したドライブスルー店舗に関する情報に基づいてドライブスルー店舗の一覧を画面上等に表示させる。表示されたドライブスルー店舗は、各々を一意に識別する店舗IDとリンクされている。顧客が表示された店舗を選択すると、カーナビゲーション1の制御部22は、顧客の選択した店舗の店舗IDをサーバ2に送信する。さらに、店舗IDを記憶する。店舗IDを受信すると、サーバ2のメニュー受付部12は、メニューDB13を参照し、メニューに関する情報を送信する。

【0014】カーナビゲーション1の制御部22は、表示部23に、受信したメニューに関する情報に基づいてメニューの一覧を表示させる。顧客は、カーナビゲーション1の画面上に表示されたメニューから、購入したいメニューと、購入する個数を選択する（図4における

）。さらに、顧客は画面に表示されている決定ボタン等をクリックする。カーナビゲーション1の画面上に表示されたメニューは、そのメニューを一意に識別する商品IDとリンクされている。カーナビゲーション1の制御部22は、顧客の選択したメニューの商品IDや購入個数等の購入商品情報をサーバ2に送信する。購入商品情報を受信すると、サーバ2のメニュー受付部12は、メニューDB13を参照し、顧客の選択した購入商品の商品IDから商品の支払い合計金額を算出する。さらにメニュー受付部12は、支払い合計金額に関する情報をカーナビゲーション1に送信する。

【0015】カーナビゲーション1の制御部22は表示部23に、受信した支払い合計金額に関する情報に基づいて合計金額をカーナビゲーション1の画面等に表示させる。顧客が支払い合計金額を確認し、画面に表示されている確認ボタン等をクリックすると、制御部22は、顧客が支払いに応じた旨をサーバ2に送信する。サーバ2の決済部14は、支払方法に関する情報を送信する。カーナビゲーション1の制御部22は、表示部23に、受信した支払方法に関する情報に基づいて支払方法の一覧をカーナビゲーション1の画面等に表示させる。顧客は、その画面を見て支払方法を選択する。本実施形態では、支払方法はクレジットカードによるオンライン決済で支払う方法と、店舗で支払う方法とを選択できる。クレジットカードで支払う方法を選択した場合、カーナビゲーション1の制御部22は、その旨をサーバ2に送信する。

【0016】サーバ2の決済部14は、ユーザDB20を参照し、登録されているカード番号等で決済する（図4における）。次に、受付番号提示部16は、管理DB15を参照し、顧客と該顧客の購入商品情報を一意に識別する受付番号をカーナビゲーション1に送信する。支払方法の選択において顧客が店舗での支払いを選択した場合、受付番号提示部16は、決済部14でのクレジットの決済をせずに受付番号を送信する（図4における

）。さらに、受付番号提示部16は、顧客の注文した商品ID、購入する個数、支払方法、商品を購入する店舗の店舗ID、受付番号、ユーザID等の注文情報を管理DB15に記録させる。カーナビゲーション1の制御部22は、表示部23に受信した受付番号をカーナビゲーション1の画面等に表示させる。

【0017】カーナビゲーション1の位置通知部25は、記憶した店舗IDから顧客が商品を受け取る店舗の位置を認識し、また、顧客の乗っている車の位置を監視する。顧客が乗っている車が、顧客が商品を受け取る店舗から一定距離に近づくと、位置通知部25はセンタのサーバ2に位置（一定時間後に到着すること）と、空いているフィールド等に記憶しているユーザID等を送信する（図4における）。

【0018】それを受信すると、サーバ2のオーダ転送部17は、管理DB15を参照し、ユーザID等から、顧客の注文した商品ID、購入する個数、支払方法、商品を購入する店舗の店舗ID、受付番号等の注文情報を確認する。さらに、注文情報の店舗IDから店舗DB等を参照するなどして顧客の指定したドライブスルー店舗を認識し、その店舗の店舗端末3に注文情報を送信する（図4における）。店舗端末3は、注文を記憶するフィールド等に受信した注文情報を記憶する。また、店舗端末3は、受信した受付番号、注文した商品、商品の個数、支払方法（クレジットにより支払済みか店舗での決済か）等を、店内のPOSレジに表示する、あるいは、店内のプリンタで印刷等することにより、店舗の店員に注文情報を提示する。店舗の店員はそれを見て、一定時間後に顧客が到着することを認識し、商品の用意を始める。

【0019】店舗の受信機は、店舗と一定距離まで近づいたすべての顧客の持つブルートゥースにより送受信できる機器と通信している。顧客が商品を受け取る店舗に一定距離まで近づくと、受信機はユーザIDを確認する旨の要求をカーナビゲーション1に送信する。カーナビゲーション1の到着通知部26は、ブルートゥースによりユーザIDを含む情報を送信する。受信機は、カーナビゲーション1から送信されたユーザIDを含む情報を受信する。受信機は、モニタにユーザID等を示させたり、また、ランプを点灯させるなどして顧客の到着を報知する。また、受信したユーザID等を、POSレジ（キャッシュャー）へ送信する。

【0020】POSレジ（キャッシュャー）には、受付番号、ユーザID等、顧客の注文した商品、商品の個数、支払方法（クレジットにより支払済みか店舗での決済か）等の注文情報が店舗端末3から送信されている。POSレジ（キャッシュャー）は、受信機から送信されたユーザID等から、顧客の注文した商品、商品の個数、支払方法（クレジットにより支払済みか店舗での決済か）等の情報を照合する。顧客が商品の受け取り場所に来た

ら、店員は顧客の提示した受付番号と、POSレジ（キャッシュ）に表示された受付番号とを照合して注文した顧客と確認する。顧客がクレジットによる決済済みであれば商品を渡し、店舗での決済であれば現金の受け渡しなどした後、商品を渡す。

【0021】以上が、カーナビゲーション1を利用して注文をする実施形態である。次に、携帯端末を利用して注文する実施形態のシステム構成は、図1および図2に示すカーナビゲーション1を利用して注文する実施形態のシステム構成とほぼ同じである。本実施形態では、Bluetoothによる送受信機能を備える携帯電話を使用するものとし、それを携帯電話5とする。

【0022】図5を参照して動作を以下に説明する。顧客は、携帯電話5を用いて、サーバ2にアクセスし、注文依頼する。顧客からの注文依頼を受信したサーバ2の受信部11は携帯電話5の発信電話番号等を認識する。また、店舗提示部19は、店舗DB等を参照し、店舗の一覧を携帯電話5に表示させる。顧客は、画面等に表示された店舗から商品を受け取る店舗を選択する。すると、携帯電話5は顧客の選択した店舗の店舗ID等を含む店舗情報を送信する。店舗情報を受信すると、サーバ2のメニュー受付部12は、メニューDB13を参照し、携帯電話5の画面等にメニューを表示させる。

【0023】顧客は、携帯電話5の画面上に表示されたメニューから、購入したいメニュー、および購入個数を選択する。さらに、顧客は画面に表示されている決定ボタン等をクリックする。すると、携帯電話5は顧客の選択したメニューとリンクされている商品IDや購入個数等の購入商品情報をサーバ2に送信する。購入商品情報を受信すると、サーバ2のメニュー受付部12は、メニューDB13を参照し、顧客の選択した購入商品の商品IDから商品の支払い合計金額を算出する。さらに、支払い合計金額を携帯電話5の画面等に表示させる。

【0024】顧客が支払い合計金額を確認し、画面に表示されている確認ボタン等をクリックすると、携帯電話5は顧客が支払いに同意した旨をサーバ2に送信する。決済部14は、支払方法を表示した画面を携帯電話5に表示させる。顧客は、その画面を見て支払方法を選択する。本実施形態では、支払方法はクレジットカードによるオンライン決済で支払う方法と、店舗で支払う方法とを選択できる。クレジットカードで支払う方法を選択した場合、決済部14は、携帯電話5の画面にクレジットカードのカード番号等の入力画面を表示させる。顧客はカード番号等を入力し、送信する。サーバ2の決済部14は、受信したカード番号等でオンライン決済する（図5における）。

【0025】次に、受付番号提示部16は、顧客と該顧客の購入商品情報を一意に識別する受付番号を、携帯電

話5に送信する。支払方法の選択において顧客が店舗での支払いを選択した場合には、決済部14でクレジットの決済をせずに受付番号を送信する（図5における）。

さらに、受付番号提示部16は、顧客の注文した商品ID、購入個数、支払方法、商品を購入する店舗の店舗ID、受付番号、発信電話番号等を含む注文情報を管理DB15に記録させる。

【0026】サーバ2のオーダ転送部17は、管理DB15を参照し、注文情報の店舗IDから店舗DB等を参照するなどして指定店舗を認識し、その店舗の店舗端末3に注文情報を送信する（図5における）。店舗端末3は、注文を記憶するフィールド等を受信した注文情報を記憶する。また、店舗端末3は、受信した受付番号、注文した商品、商品の個数、支払方法（クレジットにより支払済みか店舗での決済か）等の注文情報を、店内のPOSレジに表示したり、店内のプリンタで印刷するなどする。本実施形態では、このプリンタ、POSレジ等は、受信した注文情報に基づいて顧客（利用者）の購入する商品を用意させる手段に相当する。これらを見た店舗の店員が商品を用意することにより、その機能を実現させる。

【0027】店舗の受信機は、店舗に一定距離まで近づいたすべての顧客の持つBluetoothによる送受信機能を備える機器と通信している。顧客が商品を受け取る店舗に一定距離まで近づくと、受信機は発信電話番号等を確認する旨の要求を携帯電話5に送信する。携帯電話5はBluetoothにより発信電話番号等を含む情報を受信機に送信する。受信機は、モニタに発信電話番号等を表示したり、また、ランプを点灯させるなどして顧客の到着を報知する。また、受信機は、受信した発信電話番号等を、POSレジ（キャッシュ）へ送信する。店員は、顧客が商品の受け取り場所へ移動している間に、POSレジやプリンタによる印刷物等を参照し、商品を用意する。

【0028】POSレジ（キャッシュ）には、あらかじめ受付番号、発信電話番号、顧客の注文した商品、商品の個数、支払方法（クレジットにより支払済みか店舗での決済か）等の注文情報が店舗端末3から送信されている。POSレジ（キャッシュ）は、受信機から送信された発信電話番号等から、顧客の注文した商品、商品の個数、支払方法（クレジットにより支払済みか店舗での決済か）等の情報を照合する。顧客が商品の受け取り場所に来たら、店員は顧客の提示した受付番号と、POSレジ（キャッシュ）に表示された受付番号とを照合して注文した顧客と確認する。顧客がクレジットによる決済済みであれば商品を渡し、店舗での決済であれば現金の受け渡しなどした後、商品を渡す。

【0029】なお、上述の実施形態において、携帯電話5やカーナビゲーション1は、携帯電話やカーナビに限られることなく、PDA等でもよい。要は、携帯電話



網やインターネット等の通信ネットワークを介してセンタのサーバ2にアクセスできる情報機器であればよい。

【0030】また、無線による送受信機能を備えている情報機器を用いて注文依頼をする場合、顧客は注文情報をその情報機器に記憶させておき、店舗に到着すると同時に注文情報を直接店舗の店舗装置に送信してもよい。例えば、無線による送受信機能を備えている情報機器とは、ブルートゥースによる送受信機能等を備えた携帯電話であるものとする。このとき、店舗では、ブルートゥースによる送受信機能等を備えた店舗装置を備えているものとする。顧客は、あらかじめ、上述の実施形態のように購入する商品と個数等の注文情報を決定し、携帯電話に記憶させておく。購入する店舗の店舗装置と通信できる距離に近づくと、記憶させた注文情報を店舗装置に送信する。注文情報を送信するタイミングは、顧客がボタン等を押すことにより送信してもよく、上述の実施形態のように、携帯電話が店舗装置と通信した上で自動的に送信してもよい。顧客からの注文情報を受信した店舗装置は、例えば、注文情報をPOSレジ等に送信する。POSレジやプリンタは、注文情報を店舗の店員に提示することにより商品を用意させる。

【0031】また、上述の実施形態において、商品の注文に使用するカーナビゲーション1、および携帯電話5はブルートゥースによる送受信機能を備えるものとした。しかし、必ずしもブルートゥースによる送受信機能を備えていなければならないということではない。ブルートゥースによる送受信機能を備えていない場合、例えば、顧客は注文時に商品の受け取りに使用する車のナンバーを商品情報に含めて送信するものとしてもよい。あるいは、車のナンバーをユーザ登録の際に登録するものとしてもよい。その場合、店舗では、ナンバー読取装置等を備えており、到着した車のナンバーを読み取ることで顧客の到着を認識するとよい。

【0032】また、カーナビゲーション1はインターネット50と接続できる機能を備えるものとしたが、カーナビゲーション1がその機能を備えていなくても、携帯電話等と接続させることによりインターネット50と接続させてもよい。また、上述の実施形態では、顧客が店舗に到着する前に注文情報が店舗に送信されているものとした。しかし、受信機やナンバー読取装置等の到着認識装置が、顧客が店舗に到着したことを認識した後に、センタのサーバ2に注文情報を問い合わせてもよい。

【0033】また、上述の実施形態では、センタのサーバ2がメニュー、および、商品を購入する店舗をカーナビゲーション1や携帯電話5の画面等に表示させるものとしたが、これに限られることはない。顧客があらかじめメニュー表や店舗表等を所有しており、商品IDや店舗ID等を入力等することにより商品や店舗を指定してもよい。また、カーナビゲーション1を用いた場合、顧客が店舗を選択した時にカーナビゲーション1からサー

バ2に店舗ID等が送信されるようにしてもよい。要は、顧客が店舗に行く前にドライブスルー店舗のメニューを知ることができればよく、また、商品を購入する店舗を指定できればよい。また、顧客は商品の注文時に「〇〇時に商品を取りに行く」というように、時間を指定してもよい。

【0034】また、上述の実施形態では、受信した注文情報に基づいて顧客の購入する商品を用意させる手段として、サーバ2からの注文情報をプリンタやPOSレジ等に提示させ、店舗の店員がそれを見ることにより商品を用意させるとしたが、これに限られるわけではない。例えば、商品を製造する装置等に注文情報を直接送信することにより、顧客の購入する商品を用意させてもよい。また、受信機で受信したユーザID（発信電話番号）等と、印刷あるいは表示した注文情報を店員が照合することにより、顧客の到着を認識したが、これに限られるわけではない。要は、サーバ2から送信された注文情報を店舗内に提示し、到着した顧客を一意に識別できる情報と、受信した注文情報を照合することにより、到着した顧客の注文した商品を認識することができればよい。

【0035】また、携帯電話5を使用する上述の実施形態において、顧客はあらかじめユーザ登録してもよい。その場合、受信機やサーバ2は、携帯電話5の発信電話番号ではなく、ユーザID等で顧客を認識してもよい。ユーザ登録した場合、顧客はクレジットカードのカード番号を入力する等の手間を省くことができる。

【0036】また、図2および図3における各部の機能の一部またはすべてを実現するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行させることにより各部の機能を実現させてもよい。なお、ここでいう「コンピュータシステム」とは、OSや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータシステム」は、WWWシステムを利用している場合であれば、ホームページ提供環境（あるいは表示環境）も含むものとする。

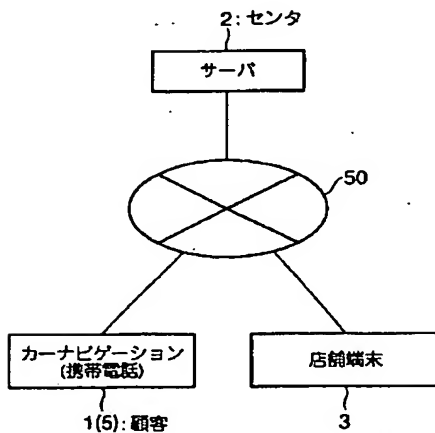
【0037】また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フレキシブルディスク、光磁気ディスク、ROM、CD-ROM等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、インターネット等のネットワークや電話回線等の通信回線を介してプログラムを送信する場合の通信線のように、短時間の間、動的にプログラムを保持するもの、その場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリのように、一定時間プログラムを保持しているものも含むものとする。また上記プログラムは、前述した機能の一部を実現するためのものであっても良く、さらに前述した機能をコンピュータ

システムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるものであっても良い。以上、この発明の実施形態を図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等も含まれる。

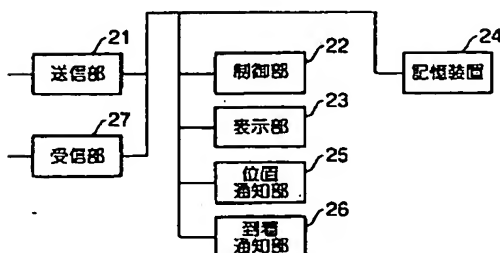
# 【0038】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によるドライブスルーオーダーリングシステムによれば、下記の効果を得ることができる。ドライブスルー店舗の端末と、利用者の端末及び前記ドライブスルー店舗の端末に通信ネットワークを介して相互に接続され前記利用者からの注文を受け付けるサーバと、前記利用者の到着を認識する前記ドライブスルー店舗の到着認識装置とからなるドライブスルーオーダーリングシステムにおいて、前記サーバは、前記利用者の端末から前記利用者の購入する商品に関する情報と、前記利用者を一意に識別できる情報とを含む注文情報を受信する受信部と、前記受信した注文情報を前記ドライブスルー店舗の端末に送信する送信部と、前記ドライブスルー店舗の端末は、前記注文情報を受信し、前記受信した注文情報に基づいて前記利用者の購入する商品を用意させる手段を備え、前記ドライブスルー店舗の到着認識装置は、前記利用者を一意に識別できる情報により前記利用者の到着を認識し、前記利用者の到着を前記ドライブスルー店舗の店員に報知する手段

【図 1】



【図 3】



を備えることを特徴とする。これにより、ドライブスルー店舗を利用する顧客は、従来より早く商品を受け取ることができる。

# 【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の、一実施形態の構成を示す図である。

【図 2】 同実施形態において、サーバ 2 の機能をブロック化して示した図である。

【図 3】 同実施形態において、カーナビゲーション 1 の機能をブロック化して示した図である。

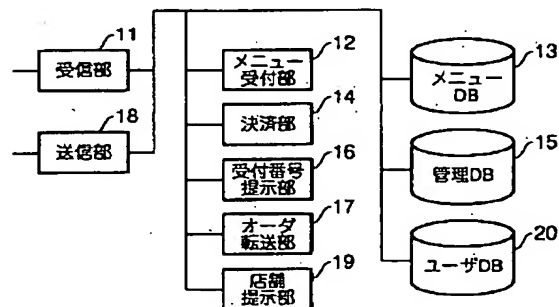
【図 4】 同実施形態において、カーナビゲーション 1 を用いて注文をする動作を説明する図である。

【図 5】 同実施形態において、携帯電話 5 を用いて注文をする動作を説明する図である。

# 【符号の説明】

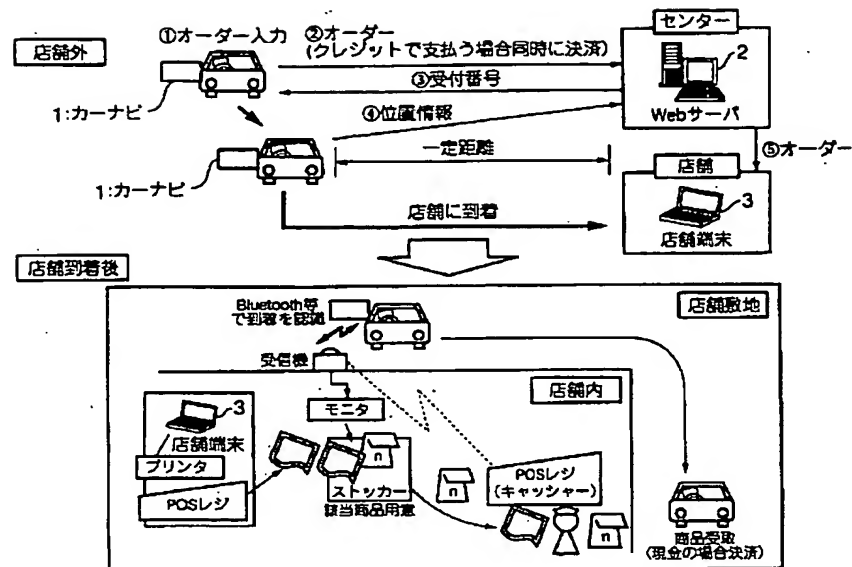
1 : カーナビゲーション、2 : サーバ、3 : 店舗端末、5 : 携帯電話、11 : 受信部、12 : メニュー受付部、13 : メニューDB、14 : 決済部、15 : 管理DB、16 : 受付番号提示部、17 : オーダ転送部、18 : 送信部、19 : 店舗提示部、20 : ユーザDB、21 : 送信部、22 : 制御部、23 : 表示部、24 : 記憶装置、25 : 位置通知部、26 : 到着通知部、27 : 受信部、50 : インターネット

【図 2】

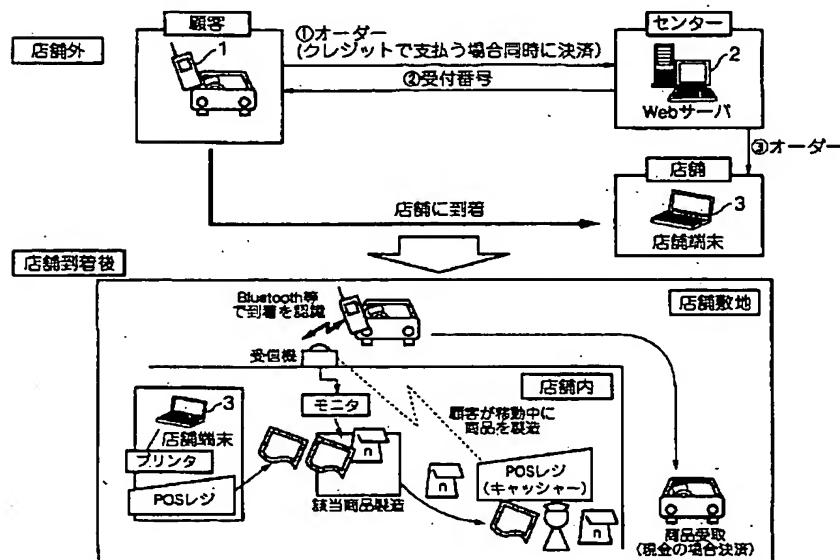




【図4】



【図5】



フロントページの続き

(72) 発明者 比留間 茂晴  
東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会  
社エヌ・ティ・ティ・データ内

(72) 発明者 岩田 真由美  
東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会  
社エヌ・ティ・ティ・データ内

(72) 発明者 田村 祐二  
東京都新宿区西新宿六丁目五番一号 日本  
マクドナルド株式会社内

Fターム(参考) 3E042 AA01 CA10 CC03 CD04 EA00